







## 綿作地より

在アバレ

僕は大正九年から今日迄毎年借地して綿作をやつて來た。そして此の五、六年には喰ふに困つて一週間も芋で過した事もあり、また五百糸札のたばねたやつを懷中して自動車で往復したこともあつた。つまり僕として貧苦の極と得意の極とを發揮した譯だ。

が併し本年程の辛苦はまだなかつた、何故なれば、昨年の綿價暴落の爲め本年の上價を見込んだ無理算段をして植付けたのがまた本年一層の下落を來て手も足も出ない様になつたからだ、それなれば其の五百糸札のたばねた時に自動車に乗らず、忠告金を握れば大盃風を吹かして見たくなる、大町桂月の書にも「凡人は富に處して昔の貧を忘れ、貧に處して昔の富を忘る、富はす、達人は貧に處して昔の富を忘れず」と云ふ事があつたが、そこで此の綿作は随分おもろい仕事だ、昨年迄人のほる、浮雲の様だ、農業は堅い仕事だといふが、此の綿作りにまつた昨年まで人を使つてゐた者もしないのだ、然しこうしての綿作りになるとどうしても他の仕事に乗り替へる事が出来ない、それは僕だけではない、此のアバレ市を中心として日本第一モンソン殖民地、サンタ・クルース・ド・リオ・バルド並にオウリニヨスを合したら、此のソロカバナ線だけで數百家族の

事して居る。がさて綿作から他の仕事を乗り受けた人は、それこそ少數なものだ、その中で日本へ送金した青々としてゐる葉綿を仲買人さへもあらう、土地を買って依然として一週間も芋で過した事もあり、また五百糸札のたばねたやつを懷中して自動車で往復したこともあつた、つまり僕として貧苦の極と得意の極とを發揮した譯だ。

が併し本年程の辛苦はまだなかつた、何故なれば、昨年の綿價暴落の爲め本年の上價を見込んだ無理算段をして植付けたのがまた本年一層の下落を來て手も足も出ない様になつたからだ、それなれば其の五百糸札のたばねた時に自動車に乗らず、忠告金を握れば大盃風を吹かして見たくなる、大町桂月の書にも「凡人は富に處して昔の貧を忘れ、貧に處して昔の富を忘る、富はす、達人は貧に處して昔の富を忘れず」と云ふ事があつたが、そこで此の綿作は随分おもろい仕事だ、昨年迄人のほる、浮雲の様だ、農業は堅い仕事だといふが、此の綿作りにまつた昨年まで人を使つてゐた者が、今年は人に使はれる様になつたが、農業は堅い仕事だといふが、此の綿作りになる事が出来ない、それは僕だけではない、此のアバレ市を中心として日本第一モンソン殖民地、サンタ・クルース・ド・リオ・バルド並にオウリニヨスを合したら、此のソロカバナ線だけで數百家族の

の日本人が借地して綿作りに從事して居る。

の習慣として正月まで食つて行

ると思ふ、此のアバレ附近一帯

の習慣として正月まで食つて行

けばその先はどうにかなる、そ

</div







